

“にれのき”は、エルムアカデミーが、父母・OB・サポーターに向けて発信する情報誌です。



にれのき

2003年10月号



発行：エルムアカデミー
〒142-0054
東京都品川区中延 5-6-14-2F
電話：03-3784-5676
ファックス：03-3784-5609
ホームページ：http://elm.m78.com/
e-mail：elm@kiwi.ne.jp

特集

**夏の実践
北星余市高校視察レポート**

意味のある体験を積み重ねる。

『もつたいない根性』との闘いと決別



とうもろこしのもぎとり。はじめての体験にとびっきりの笑顔の子どもたち。

「もつたいない根性を思い切って捨てよう」。これが、キャンプ前にスタッフが胸に誓った言葉でした。この思いの原点は昨年のキャンプにありました。

昨年のキャンプは、「遊ぶ・食べる・つくる」のテーマごとにグループ分けをし、キャンプ前から何度も何度も話し合いを重ねました。「こうしたい」という自分の意見を持つこと、そしてそれを自分の言葉として仲間に伝えること、さらにそうした一人ひとりの意見をグループとして、あくまでも話し合いで調整していくこと。昨年のキャンプで私たちが目指したものは、まさに子どもたちに「民主主



ナイフ作り。黙々と取り組む子どもたち

義」を体験させることでした。こうしてキャンプをやり終えた子どもたちからの感想で一番多かったのが、「つらかった。でも達成感があった」というものでした。この感想を聞く限り、私たちの取り組み



草木染の作品。きれいに仕上がりました。



竹細工では弓矢、竹とんぼ等を作りました。

みは成功でした。しかし、スタッフの心の中にはなぜか疑問が残りました。それは、子どもたちの感想の中に「楽しかった」という言葉が少なかつたからです。

普段教室でしか子どもたちに接することのないスタッフにとって、キャンプは様々な取り組みを試すことができる格好の場です。だから、このチャンス逃すまいと、あれもこれもと企画を詰め込んできたのが昨年まででした。そして今年、この『もったいない根性』

と闘い、決別して臨んだキャンプは、私たちの想像以上に実りの多いものとなりました。

子どもたちの要求をくみ取り、川遊びを毎日予定に組み込んだり、とうもろこしのもぎとりや石窯でのピザづくりに挑戦したり、キャンプでしか体験できないことを優先させて日程を作り、選択の時間では、「ナイフ作り」「竹細工」「草木染」の3つのコースに分かれて、自分がやりたいと思うことをできるようにしました。その結果、キャ

ンプ全体に流れる雰囲気のがんびりとして、緩やかになりました。不思議なことに、こうして何にも追われることなく、ストレスから開放された子どもたちは、周りの人間に対して優しさを取り戻していききました。6年生が下級生の面倒を積極的に見るようになったり、ホームシックにかかって、泣いている子をみんな励ましたり……。私たちスタッフが一番驚いたのは、こうして「楽しかった」キャンプを終えた二期生の教室には、一学期とはまるで違うクラスの空気が出来上がっていたことでした。そこには確かにお互いを「仲間」として認め合い、手をつなぎ合える関係が生まれていました。そうした子どもたちの変化については、「キャンプ報告会」で保護者の方々からも多くの意見が寄せられました。その中のいくつかを紹介して、キャンプの報告とさせていただきます。

父母の感想から

キャンプはすごく楽しかった様子。1日目は家族とはなれるのが不安だった。でも、キャンプがアウトホームだったためか、キャンプ後一人であられなくなり、毎日友達に声をかけて遊んでいた。それくらい和気あいあいとしたものだったみたい。

小5男子の母

今年は去年と違って班長じやなかったから重荷がなくて伸び伸び楽しめたようだった。

田舎でバーベキューをやったとき、ファイヤーの踊りを踊り始めて、ずっと踊っていた。車の中でもキャンプで習った歌を歌ったりなど、親が伝えられないことを色々得て帰ってきたようだった。ゲーム漬けの毎日から抜け出して自然の中で思いっきり遊ばせたいと思っていたのでよかった。

小6女子の母

『変わる自分』が見える夏

『ココロのなか』にあふれだす言葉

私は、何かあるたびに泣いていた。自分に自信なんて無かったし、まっぴらだった。でも、こんなやつでも、気づかってくれる人へ「好き」と言ってくれる人がいる。そう考えると、力がわいてきた。勇気がわいてきた。自分がそこにいる意味、理由ができる。自分は必要とされている……。みんなのおかげで自分が変わる気がする。強くなる気がする。私はもう泣かない、自分のため、そして、勇気くれた人たちのため、私はもう泣かない！

↑は、自然と心の中にわいてきた言葉。自分でもびっくりしたよ。詩なんて書いたコトなかったし、まさか、こんな言葉が出るなんて……。エルムってすごい。心がこんなにキレイに、素直になれたのは初めてだったよ。心が洗われた気がした。

今日は東京に帰る日。でも、なぜか『ナミダ』は出なかった。理由は悲しさよりも、満足感のほうが大きいから。来てよかったってマジメに思ったし、来なかったら変わらなかったからネ。

合宿のテーマ『変わる自分が見える夏』はピッタリだと思う。

変わることでできた自分がここにある。

変わることでできた仲間がいる。

こんな幸せってどこにある？

前まで「自分は不幸でダメな人間」ってずっと思ってたケド、今はちがう。「自分はこれから変わる！変わってみせる！」って思ってる。

エルム、ありがとう。そして、これからもヨロシクおねがいします。

今年の合宿で子どもたちが決めたスローガンは『変わる自分が見える夏』。このスローガンの下で子どもたちが手にした成果が上の中学二年生の日誌に凝縮されています。自分たちを取り巻く社会に対する、ある意味絶望にも似た不安感。そしてそんな社会をまるでふわふわと漂っているような感覚。自分に対する否定的な感情。しかし合宿は、浮遊し、閉鎖的で退廃的に見える子どもたちの中にも、確かに「よりよく生きたい」という思いが強く息づいていることを教えてくれます。確かに変わった自分と、それを支えてくれた仲間たち。エルムの中学生、高校生たちは、今年もまた実り多き夏を過ごし、ひとまわり大きくなつて二期の生活をスタートさせています。

もっぴょとっのエルムがあった

北星学園余市高校の文化祭見学報告



九月二十日、二十一日と矢沢、坂口とエルムの生徒三名の合計五名で、いまだキュメントやドラマで脚光を浴びている北星学園余市

高校（以下「北星余市高」）の学校見学と文化祭見学に行ってきました。

エルム中学部の卒業生が北星余市高に進学したのは、およそ十年前が初めてでした。その後、隔年ごとに卒業生が進学し、最近では毎年一・二名が進学す

るようになっていきます。昨年、父母より「一度先生たちで北星余市高に見学に行きなさい」と促され、初めて坂口・小原・中塚が見学に訪れ、今回は二回目の見学になります。

北星余市に到着して最初に見たのが「合唱祭」でした。北星のお母さんたちから「合唱祭は本当に素晴らしいから、ぜひ見てください」と言われていたので、楽しみにしていた行事でした。手をつないで歌っている子、身体を揺らして歌っている子、身動きしない緊張気味の子、いろんな生徒たち、一見するとバラバラにも見えるのですが、ゆるやかな一

体感のなかで、心を一つにして、自分たちの心を歌おうという気持ち、が、じーンと伝わってきました。特に印象的だったのが最後に出演したクラスで間奏のとき伴奏がうまくいかないでピアノが止まってしまふハプニング。すると、誰か

らともなくクラス全員が、伴奏している子を後押しするように、メロディーを口ずさみ始めたのです。とても心あたたまる発表となりました。これには、見学に来たエルムの子ども達も感動していました。このクラスがどのようにクラス集団をつくりあげてきたのかは分かりませんが、「心をひとつ」にして発表をしている姿から、北星余市



校門から校舎を見る。

高の「教育」を少し垣間見た気がしました。

その後、各クラスの校内展示を見学。こだわりの一つが、教室の「内装・外装」です。この質の高さ、特に三年生の教室には驚かされました。これはなかなかのものですよ（写真参照）。クラスのまとまりがなければ、あれほどのものは作れないでしょう。アイデアを出し合い、議論し、時間をかけてみんなの形にした……という各クラスの努力の跡がはつきりと見える本当に素晴らしいものでした。だからこ



3年生の教室の飾りつけ。

そ、三年生の展示は群を抜いていて、これが後輩達の憧れとなり、後年に引き継がれていくのだろうということを感じました。合唱と同様に展示も、北星余市の一つの「文化」としてしっかりと根付いているのを感じました。

文化祭の最中、佐々木校長先生、募集担当の塩見先生とお話する時間をいただきました。特に、一年の大麻問題で教員集団が学校の存亡をかけて子ども達と真剣に対峙し、話し合い、問題を乗り越えようと取り組んだ話は印象的でした。



中庭。一日中学生主催のイベントが行なわれている。

た。

この問題に限らず、北星余市は、生徒一人ひとりが「ありのままの自分」でいられることを大切にしているからこそ「自分をひらく」ことができるように様々な工夫がされているし、ありのままであるからこそ、ぶつかり合いがあることを当然としているし、それをダイナミックに乗り越えていく教員集団の知恵と学校としての「伝統」を持っていることを、話から強く感じました。



ピバハウスのしいたけ栽培場。一番手前が安達さん。

の場となる下宿・寮のいくつかを見学しました。それぞれの下宿・寮も個性的で、それぞれ異なるやり方で運営しています。しかし、共通していたのは、どこに行っても北星余市高の教育方針や先生方の熱意を高く評価し、共感しながら運営している点です。また、学校外で何か問題が起これば、すぐに学校と連絡をとりあい対応しているそうです。「地域」にしっかりと根ざして子ども達を支えていく教育実践が息づいていることを知りました。

最後に、北星余市高の元教諭の安達さん夫妻が三年前に設立された引きこもりの青年たちの自立支援施設「ビバハウス」を見学しました。ビバハウスは現在、およそ

十名の青年たちと安達夫妻、それから数名のボランティアの方が共同で生活しています。その中で食事づくりやスポーツなどで徐々に集団に慣れていきます。その後、就労体験として余市や近隣の町の農家の「しいたけ」栽培やリンゴの収穫を手伝ったりしながら、労働を学び自立を培っていきます。今後の事業展開としては、北海道ならではの広大な土地を利用して農園を運営する計画だそうです。いくつかの農園を車から見学させて頂きましたが、一キロ四方すべて農園というその広さには驚かされました。安達さんは「不登校の中学生もこちら（余市）に来て、それで高校は北星に行けばいい。大自然が心を変えてくれる」との話は興味をひかれました。

今後、エルムもビバハウスなどとも連絡をとりながら青年支援事業や不登校問題のあり方を展望していきたいと思っています。

TBS系にて放送中!

ヤンキー母校に帰る

北星余市高校の義家先生の実践をベースにしたドラマです。ぜひ一度ご覧ください。

お問い合わせは、下記のホームページから

北星余市高校

<http://www.hokusei-y-h.ed.jp/pc/framepage1.htm>

ビバハウス

<http://www.geocities.jp/vivahousejp/>

エルムアカデミー ESS 事業部開設の知らせ

エルムアカデミーは、来年一月で創立20周年を迎えます。

一九八四年、競争と選別にさらされ、逃げ場のない子どもたちの学力保障や人格形成を大きな目標に掲げ、品川の地に産声をあげ、教育実践を積み重ねてきました。実践を積み重ねる中で社会に送り出してきた卒業生も千名を越えました。私たちのもうひとつの関心は、この卒業生にあります。社会の不況の波に否応なくさらされ、将来に対する不安を抱え、厳しい現実を生きる彼らのためにできることはないか……。そのひとつの答えとして、今年四月にESS事業部を開設しまし

た。ESS事業部では、①パソコン・インターネット関連業務、②デザイン・パブリッシング関連業務、③人材派遣業務などを通じて、若者の雇用を創出するとともに、地域で育った若者が地域で働き、生きていくことができるような「コミュニティ」を生み出すことを目的としています。

現在、①の業務ではホームページの開設やパソコン教室の開催、②の業務では、デザインや印刷の請負、③の業務では、病院での事務受付やメッセージジャー業務をすでに受注し、活動しています。

20周年を契機に、もうひとつ先のステップへ。子どもたちと、地域に住むすべての人のために、エルムの挑戦は続きます。ぜひ、応援をお願いします。



elm academy

what's new 私たちのめざすもの 実績紹介 募集案内 教室案内
 通信 子育て支援関係誌 リンク 資料請求



“学び”も“育ち”も 全力で応援します。

仲間とは、手と手をつなぎ、お互いの成長を喜びながら進んでいくべきもの。私たちの子どもたちに出たいのは、「君たちはどう生きるのか」ということ。そして、仲間との心の通った交流のなかでしか育まれることのない“学ぶこと”の価値。誰からの学びと、人間としての成長。私たちはどちらも全力で応援します。

エルムアカデミー

All right reserved elm academy

- ▶ 運営活動情報
- ▶ 運営活動情報
- ▶ 運営活動情報

アクセスは、<http://elm.m78.com/>

エルムHPリニューアル!!

子育て支援のポータルサイトへ

十月十日、エルムのホームページが二年ぶりにリニューアルされました。

インターネットの普及に伴い、最近では募集の問い合わせがホームページからされることが多くなり、より見やすく、わかりやすいホームページの作成が必要とされました。内容の検討やレイアウト・デザインなど、今までのものから見直してまったく新しいページを作成しました。

エルムをわかりやすく伝えることとともに、今回のリニューアルで最も力を入れたのは、エルムのホームページを「子育て支援ホームページ」として位置づけることです。ホームページの中に「子育て支援掲示板」を設置し、エルム

生の保護者に限らず、広く子育ての悩みや相談を公開できるようにしました。また、今後は子どもたちのための「学習相談室」も設け、活用していきたいと思っています。

エルム内部生やその保護者のために、今後は授業に関する報告や保護者会、個人面談、行事のお知らせや変更など、連絡事項をホームページ上でも公開することになりました。

新しく生まれ変わったエルムのホームページにぜひアクセスしてください。そして、更なる進化を遂げられるよう、ご意見をお寄せください。エルムのホームページへは、上記のURLを入力する他に、検索エンジンで「エルムアカデミー」でもアクセスできます。